

豊中市とNTT西日本との「デジタル・ガバメントの実現に向けた連携協定」の締結について

豊中市（市長：長内繁樹、以下 豊中市）と西日本電信電話株式会社（取締役 大阪支店長：上山圭司 以下、NTT西日本）は、「デジタル・ガバメントの実現に向けた連携協定」を締結しました。

1. 連携協定締結の目的

NTT西日本は、社会を取り巻く環境変化がもたらす様々な課題に対し、先頭に立ってICTの力で解決していく「ソーシャルICTパイオニア」として、これまで培ってきた経験や技術力を生かし、地域活性化等の取組みを支援しています。

本協定により、まちの機能や行政サービスを効率化・高度化し、市民生活の利便性や快適性を向上させるため、各種ソリューションの活用や、デジタル技術の活用に向けた人材育成といった取組みを、豊中市とNTT西日本が協働で推進していきます。

2. 連携協定の概要（デジタル・ガバメントの実現）

- (1) 地域課題の解決と市民サービスの向上に向けた各種ソリューションの活用に関する事
- (2) デジタル技術の活用に向けた人材育成に関する事
- (3) その他両者が協議して必要と認める事項

デジタル・ガバメントとは

ICTを活用して行政サービスを高度化し利便性を向上するだけにとどまらず、デジタル技術によってサービスや働き方、社会経済活動を変革し、新たな価値を創造するもの。

国においても「デジタル・ガバメント実行計画」を策定し、「デジタルファースト」「ワンスオンリー」「コネクテッド・ワンストップ」の3原則に則り、各種取組みを推進中。



デジタル・ガバメントの実現に向けた連携協定

今後の主な取組み

- オンライン手続きの拡充
- キャッシュレス決済
- AI・RPAの活用
- GIGAスクール構想
- オープンデータ
- 官民でのデータ活用
- クラウドサービスの利用
- マイナンバーカードの普及
- スマートシティの推進 など

3. 具体的な取組み

(1) デジタル技術の活用に精通した人材育成を目的とする研修等の実施

具体的な取組み事例 1

「デジタル技術の利活用に精通した人材」の育成に向けた支援



デジタル人材の育成に向けた各種セミナーの実施

先進自治体や事業者等とのネットワーク構築

先進的な教育の推進

NTT西日本の強味であるネットワーク技術などに関する知見を活かした職員向け研修やワークショップの実施

スマートシティ先進自治体や関連企業とのネットワーク構築・情報連携

10年後、20年後をみすえた未来の人材育成のため、教育現場における先進的な教育の検討・推進

(2) 公園などの身近な生活空間にデジタルサイネージを設置し、ランニングやウォーキングをより楽しむことができるサービス等を提供
(2020年8月から千里中央公園を候補地としてモデル実施予定)

具体的な取組み事例 2

市民が「新たな技術による変化」を実感できる生活空間の創出



※デジタルサイネージの外観・表示内容はイメージとなります。

デジタル化によるイノベーションの推進

各種ソリューションの活用に向けた検証

AI/IoT等の先進技術活用支援

公園などの身近な生活空間にデジタルサイネージを設置し、ランニングやウォーキングをより楽しむことができるサービスを提供

デジタルサイネージを利用する市民の健康情報や利用頻度といったデータ（匿名情報）を活用することも検討

令和2年（2020年）8月から千里中央公園を候補地としてモデル実施予定

4. 今後の展開について

今後は、「デジタル・ガバメントの実現に向けた連携協定」を契機として、協定に基づく具体的な取組みを推進し、「生涯現役社会の実現」「Society5.0の推進」「地域経済の活性化」に向けて、豊中市の様々な社会課題の解決を図ってまいります。

※ニュースリリースに記載している情報は、発表日時点のものです。現時点では、発表日時点での情報と異なる場合がありますので、あらかじめご了承くださいとともに、ご注意をお願いいたします。

審査 20-396-1